

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190700171		
法人名	医療法人善成		
事業所名	グループホーム小葉音 橙季		
所在地	佐賀県鹿島市大字納富分2126-2		
自己評価作成日	令和3年2月6日	評価結果市町村受理日	令和3年7月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会		
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号		
訪問調査日	令和3年3月10日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

☆フットケア	2ヶ月に1回専門の先生によるケア内容は足浴 爪切り マッサージ 角質除去 タコ除去 陥入爪 白癬等早くに発見し手頂き皮膚科受診 に繋げている
☆お便り	グループホームでの様子を写真と、職員による手書きによる手紙
☆新聞	2ヶ月に1回 用紙(A3)で新聞発行

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

幹線道路から少し離れた、静かな住宅街に佇むホームは、母体法人が運営する別棟のグループホームに隣接している。近所には中学校や幼稚園、寺院がある。ホームの理念は、「家庭での生活をそのまま安心して暮らし続けられる家になるようお手伝いします」とされており、職員は入居者一人ひとりの生活ベースを大切に、本人や家族の意向に沿ったケアに取り組んでいる。また、全身疾患の予防や転倒予防のため、口腔ケアやフットケアを細目に行い、食事を美味しく食べることが出来るよう健康管理にも配慮が行き届いている。玄関には手作りの作品が飾られ、優しい雰囲気が漂い、入居者と職員が家族のように過ごしているホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「安らぎと温もりのある環境でその人の個性と思いやりを大切にします。」入居者様が安心して過ごせるように日々努めています。	理念は職員が常に意識できるようにリビングに掲示している。ミーティング時に唱和し、振り返りを行っている。ケアの統一を行いながら理念を共有、理解し実践に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウイルス感染前までは「鹿島不知火太鼓」のメンバーの方と交流会を実施していました。早くコロナウイルス収束して再開を望んでいます。	例年はボランティアの慰問や幼稚園児との交流、老人会に参加し、日常的に交流ができていた。現在は、コロナ禍で交流が難しくなっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ボランティア慰問時入居者様と一緒に会話をしたり、踊ったりと交流行っていました。コロナウイルスの為実施することが出来ませんでした。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月の1回の運営推進会議でGHでの活動計画 入居者様の状態等を報告して皆様の助言を頂きサービスの向上に努めています。	2棟合同で開催していたが、令和2年9月より書面に対応している。日々の生活がわかるように写真をのせ、ホームでの現状報告書を送付している。返信用封筒を入れ、意見を頂き、その意見を運営に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議のメンバーの中に鹿島市役所の方がいらっしゃいますので、相談事など聞いてもらい、助言を頂きサービスの向上に努めています。	困り事や相談事、またホームでの現状報告をその都度行い、市との相談しやすい関係を構築している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	小葉音は身体拘束ゼロの目標でケアを行っています。研修・ミーティングを行い入居者様の尊厳に努めています。	外部研修の参加は出来なかったが、3ヶ月に1回は身体拘束について会議を開催し、基本的知識や言葉による行動抑制について話し合いを行い、身体拘束をしないケアに取り組まれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止の内容を職員の目が行くところに掲げています。又入浴時など全身状態の観察を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居様が安心して生活できるよう努めています。権利擁護・成年後見制度について勉強会があれば参加しもっと理解できるようになりたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時ご家族様に(リスク説明・入居料金・個人情報の取り扱い等..)読んでもらい納得されたうえでサインをいただいています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談箱を玄関の見えるところに置いています。又定期受診時・面会時に少しの間でもご家族様の意見を聞くようにして、運営に反映出来ている。	意見箱を玄関に設置している。また、家族の面会時に意見を聞くようにしている。さらに、月に1回お便りの中でも意見を聞くように努め、その意見を運営に反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝の申し送り時・ノート・2ヶ月に一回のミーティングに意見を出し合い情報共有に努め良い意見は取り入れて改善に努めています。	情報共有ノートを活用し、意見を述べたり直接管理者に提案したり、管理者から職員へ意見を求めることもある。必要時には、管理者から代表に意見を伝えている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務表作成前に個々の希望を取り入れています。有給休暇の希望も受け付けるようにしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修会に参加し個人のスキルアップに努め介護についての知識・理解を深めて日々頑張っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月1回のグループホーム交流会で、講師の方の勉強会、他のGHの方の意見を聞いたり良いところは参考にしてサービスの向上に取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族様・入居者様と上手にコミュニケーションを取り信頼関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の定期受診時・面会時話し合いの場を持ちご家族様の意見を取り入れるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様の困りごと・必要とされてるものは何か出来ないところに目を向けて支援を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	昼食時は一緒に同じ席で召し上がったたり、隣の席で過ごしたりして家族の一員として生活しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月一回の個人便り・2ヶ月に一回の新聞発行(小葉音)でGHでの生活を報告しています。写真を見てご家族様は安心されているように思います。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナウイルス感染前までは、ひい孫さんの面会等みられていました。一緒に写真を写したり感動されてました。季節に応じて(桜・紅葉見学)馴染みの場所に出かけるように支援している。	知人や家族の訪問時は、窓越しで面会ができるように支援している。また、家族との電話の機会を増やしたり、家族の協力で馴染みの場所へ出かけられるように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	午前中はレク活動(新聞音読・軽体操・脳トレ・口腔体操)皆さま居室に戻ることなく積極的に参加されます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	オープンして1年10か月余り一人としてかけることなく毎日楽しく元気に過ごされています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様の今まで生活されてきた中での思い・こだわり等受け入れが出来るよう努めています。	家族からの情報を提供してもらったり、ゆっくり話をする機会を作り、意向の把握に努めている。意向の把握が困難な方は、日頃の動作や仕草から把握するように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時情報・アセスメントを把握し個人の生活歴に、目をむけてケアに繋がっています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	2ヶ月の1回のミーティング・申し送りノートを活用し情報共有に努めて本人の状況に応じた支援を行っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・ご家族様の意見を尊重し介護の現場の声に耳を傾け計画作成に取り組んでいます。	本人、家族の意見を聞き、職員で話し合い、介護計画書を作成している。介護計画書の説明を家族に行い了承を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態・状況観察しケース記録に残し情報共有してケアの統一を図っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人一人の個性・能力を勘案し柔軟なケアに取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティア慰問・入居者様の友人・親戚の方の面会に来ていただき潤いをもって頂くよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期外来受診時等、バイタル・夜間の入眠状態・食事量・身体状況等報告行い連携を取っている。	入居前のかかりつけ医を継続している。通院は家族に対応してもらっているが、家族が対応できない時はホームが対応している。通院時の状況報告は、その都度、家族へ行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤に看護職の職員がいるので入居者様の状態・著変時等報告・連絡蜜に行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院・退院時にカンファレンスを行い看護・介護サマリーを活用しています。今回は電話によるオンライン受診も経験しましたが、情報を密に行うことが出来ました。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時の契約書に、急変時の対応の説明を行い同意を得ています。	入居時に施設の方針を説明している。その状況になった時は、主治医や家族、ホームと話し合いをしながら対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師と24時間報告・連絡体制を取り速やかに対応できるように努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災・防火訓練を年2回行い地域の方の協力をお願いしています。	消防署と合同訓練、夜間想定訓練を年2回実施している。地域住民の見守り支援も受けられている。漏電しないように毎日掃除している。食料品の備蓄も確保している。	火災以外の災害について、地震対策や落下物対策を含めた災害についても備えられることを期待する。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として尊厳の気持ちをもって言葉使いプライバシーに気を付けて対応しています。(トイレ・入浴時等)	羞恥心について、職員で話し合い、排泄や入浴時の声掛けに気を付けている。傷つけない言葉かけや対応を心掛け日々取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	9人一人一人違った性格・本人の気持ちに沿って支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	例えば誕生日には前もって本人にどんなものを食べたいのか希望を取り入れています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容の方に月1回来ていただき、気持ちよくすっきりなられる。又入浴後は保湿剤など塗ったりと皮膚の潤いを保つように心がけています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事食献立タコ焼き作りは入居者様にひっくり返してもらったりと、毎日3度の食事を楽しみにされています。殆ど完食されます。	地域のスーパーを利用し地産地消の旬の食材を活かし、美味しそうと思える食事作りに努めている。片付けは、入居者と一緒に皿拭きや台拭きを行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お茶ばかりではなく、冬は(ゆず茶・ココア)等提供しています。毎身体重測定実施・毎日の食事量チェックを行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	3度の食後の歯磨き・義歯磨き土曜日は義歯洗浄液で消毒を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表にて個々のパターンを見つけトイレ誘導・声掛け行き気持ちよく過ごしてもらっています。	排泄チェック表を活用し、各入居者の排泄パターンに応じて声掛けや誘導を行っている。ポータブルトイレを置かず、トイレでの排泄に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表にて、排便コントロールを行っています。又水分・繊維質の食材を使った献立作成を行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入居者様の好みに応じた温度(40℃・41℃・42℃)入る時間も湯あたりさせないよう本人のペースで湯舟に入られます。ほとんどの入居者様「気持ちよかった」言葉聞かれます。	毎日入浴が準備されており、入居者は1日おきに入浴をしているが、状況に応じて柔軟に対応している。また、季節が感じられるように、ゆずを浮かべたりしょうぶ湯をしたり、楽しく入浴ができるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々に応じて居室の温度調節したり寝具調節したりと気持ちよく眠られるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は個々のお薬の内容・働き・効能・副作用等薬ノート目を通しています。変更時は看護師がノート記録し目を通しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ホールの掃除・食事レク等出来る人は積極的に参加される。天気が良い日はドライブしたりと気分転換している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今年は実行できなかったけど、嬉野温泉の足湯・秋は紅葉見学・引力の見える町太良ドライブ実行できればとお思います。	例年はドライブ等出かけていたが、天気のいい日は外気浴を行っている。また、気分転換に車窓から菜の花を見に行ったり、状況をみながらできるだけ外出ができるように努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理は殆どご家族様がされています。入居者様の欲しいものは、GHが立替にて商品を購入しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望時には電話支援行っています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホール3人掛けソファは、皆様が座ってくつろげるよう提供している。室温・照明・ブラインドで明かり調節して気持ちよく生活していただいている。	部屋の換気や消毒、掃除が行き渡り、排泄臭がなく、とても清潔な環境である。季節の花が飾られ、ホッとするような手作りの小物が飾られている。不快な光や音もなく、居心地よく過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った入居者様の会話・午睡時の気の合った入居者様のソファでの過ごされる時間大切に配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様が家で使用されていた衣装ケース・タンス・毛布などで安心されている。	ホームへの持ち込みに制限はない。使い慣れた毛布やタンスを使用し、家族の写真を飾り、その人らしい部屋作りが行われている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内はバリアフリー・転倒防止の為居室は綺麗に整頓し障害物は置かない工夫をして転倒防止に気を付けています。		